

祝創立25周年体育祭



九月十日(土)、晴天下、第二十五回体育祭が行われました。多くの競技・演舞等が行われ、応援団を中心に全校一体となり盛り上がりました。



第 59 号
平成23年12月22日
発行所
鹿児島県立武岡台高等学校
鹿児島市小野町3175番地
電話 (099) 251-5333
印刷所
印刷日
電話 (099) 251-2191



最後に、体育祭に向け貴重時間を使い御指導いただいた先生方、応援してください。ありがとうございました。

武岡台体育祭に参加してPTA副会長 相原 祐一
前日までの台風の影響に開催が心配されましたが、晴天の下、第二十五回体育祭が行われました。

校の体育祭に参加させていたが、「順・創・寛」の校訓の下、各項目に精一杯取り組みや応援の演舞に感激しました。

体育祭を終えて

三年応援団長保護者 木村 弘美
今年、東北大震災、阪神大震災、台風と沢山の災害があった中、私たちは無事に体育祭を運ぶ事が出来て有難い事でした。

二年応援団長保護者 永尾 香
今年もまた僕は、応援団長という大役を任せられました。親としては、頼りない団長だと思いましたが、二十八名の応援団の仲間達として、頼りない交えられ少しずつ成長する姿を見る事ができ感謝の気持ちで一杯になりました。

一年応援団長保護者 印南 幸弘
学校生活にも慣れ、夏の練習を部活動での厳しい練習で乗り切り初めての体育祭を迎える事に成りました。それも応援団長として、何でもやれる事、出来る事に挑戦したいと、みんなで頑張った。来年も試行錯誤が続くはず。いざ本番が始まり今までのアログ

ラパワーを見せてくださいました。「共に生きよう」の校訓を胸に誓っていることを忘れず、元気がいっぱい入場。流石の5人ボップの、マスケゲームの始まりです。

エツ 颯颯

武女の重(二)に闘かん!!
体育科 中原 由香
「レフツ、ダンス」の掛け声で、元気がいっぱい入場。流石の5人ボップの、マスケゲームの始まりです。

本校では、ダンスの授業の学習発表の場として、昨年度より体育祭のプログラムにマスケゲームを導入しました。ヒップホップのステップをベースにしたウォーミングアップ用のダンスに、グループ活動で制作したパートを加え、マスケゲームにアレンジしたものです。現三年生の熱い思いを受け継ぎ、今年の作品も笑顔が溢れ、躍動感に満ちたものとなりました。

ファイナルを飾った「祝創立二十五周年、武女の重(二)に闘かん」の横断幕は、普通部員が心を込めて製作してくれた作品です。力強く伸びやかな文字のひとつひとつは、武台生の底知れぬエネルギーを感じずにはいられません。

体育祭が終わり、ある男性職員が私にひとこと、「僕も踊ってみたいなあ。」
「共に生きよう」の武台に、来年はどのような年がくるのか、乞うご期待!!

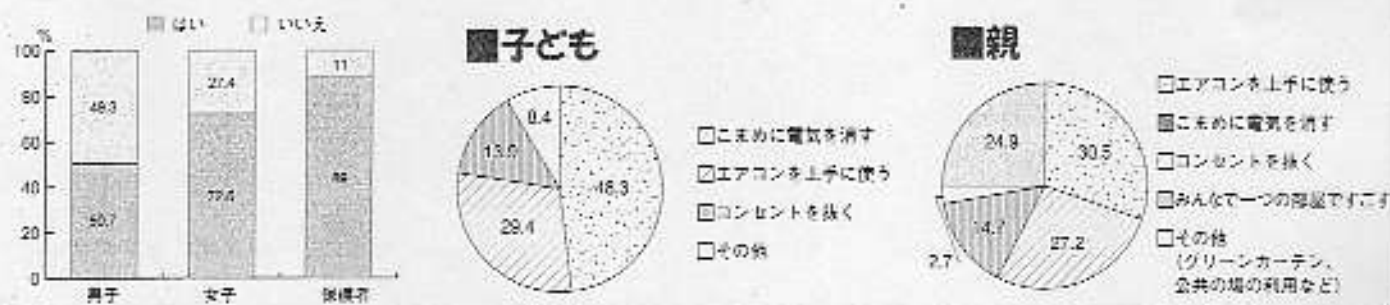


で取り組むエコ!

自分たちにはできること～



○節電を心がけていますか?



○取り組んだ結果、何か変化がありましたか?

■子ども

- ・節電を意識するようになった (習慣になった)。
- ・学校でも無駄な電気は消すようになった。
- ・暑さに慣れて少しの風も涼しいと感じるようになった。

■親

- ・電気代が安くなった。
- ・家族の意識が変わった。
- ・一つの部屋で過ごすようになり、会話が增进了。

少数意見

- ・サイフの寒冷化が少しおさまった。(子)
- ・エアコンを使わなくなり体が楽になった。(子)



○今年3月11日の震災以降、自分自身の中で意識の変化がありましたか?

■子ども

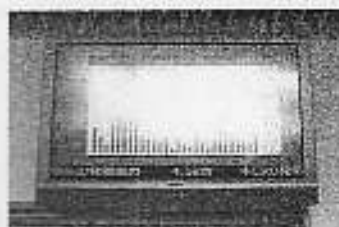
- ・食事のありがたさと人の命の大切さを感じた。
- ・学校に来れる喜びを感じた。
- ・災害時の家庭用マニュアルを作り、身近なものとして考えるようになった。
- ・雨りの人たちとの助け合いの大切さを感じた。

■親

- ・自己防衛の大切さを学んだ気がする。「備え」に対する意識が高まった。
- ・家族の絆が大切だと思った。何があっても、強くしっかり生きていける子どもに育てなければいけないと思った。
- ・家族が家を出るときは、必ず笑顔で送り出す。



写真① ソーラーパネル



写真② モニター

本校では、エコに関してどのような取り組みをしているのかご紹介しています。鹿児島県は、地球温暖化防止及び生徒の環境教育に役立てるため、平成二十二年までに、県立学校二十八校の屋上を緑化し、特別支援学校を含む二十七校に太陽光発電パネルを設置しました。本校では本館の屋根に太陽光発電パネルが設置されており、発電量は事務室前のモニター(※写真②)で確認することができます。晴天時は最大で毎時10kw(蛍光灯約三〇〇本分)の電力が得られ、省エネに役立っています。また、廊下や昇降口の蛍光灯は活動に支障がない程度に減らしており、節電に努めています。

PTAの方からご質問が多かった冷房は、原則七月末から九月末まで稼働することになっています。室温は、十七度に設定しており、職員室のパソコンで集中管理しているもので、生徒が室温の変更やON/OFFの操作することはできません。各クラスの時間割によってプログラムの時間にあり、体育など教室に生徒がいらない時間は自動的に切れ、戻ってくる時間は自動で入るようになっていきます。冬は暖房が同様のプログラムで、十一月から稼働します。教室の天井にある扇風機は冷房がついているのですが、現在では冷気や暖気を循環させるために使っています。

その他に、今年度から教職員のクールビズも実施しています。朝方は職員室の冷房も切られています。クールビズ以外の取り組みは、震災が起こったことから始めたというわけではなく、以前から行ってきたものですが、現在では職員一同、より一層の取り組みの必要を感じています。

(図書科 水上 祐子)



知っていますか?

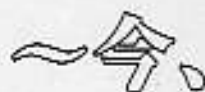
学校の取り組み

本校では、エコに関してどのような取り組みをしているのかご紹介しています。鹿児島県は、地球温暖化防止及び生徒の環境教育に役立てるため、平成二十二年までに、県立学校二十八校の屋上を緑化し、特別支援学校を含む二十七校に太陽光発電パネルを設置しました。本校では本館の屋根に太陽光発電パネルが設置されており、発電量は事務室前のモニター(※写真②)で確認することができます。晴天時は最大で毎時10kw(蛍光灯約三〇〇本分)の電力が得られ、省エネに役立っています。また、廊下や昇降口の蛍光灯は活動に支障がない程度に減らしており、節電に努めています。



PTA 講演会

親・子・学校

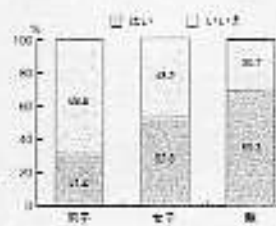


地球にやさしい取り組みをしていますか？

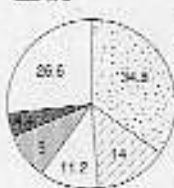
子ども



- マイボトル
- マイバッグ
- マイ箸
- 買わない物を買わない
- その他



親



- エコバッグ
- マイボトル
- ゴミや資源物の分別
- マイ箸
- 買わない物を買わない
- その他

取り組んだ結果何か変化がありましたか？

子ども

- ・ゴミが減った。
- ・お金の節約。
- ・ジュースを買わなくなった。
- ・良く分からない。

親

- ・ゴミの量が減った。
- ・水道料金が安くなった。
- ・エコバッグ持参でポイントが貯まる。

少数意見

- ・歯磨きの時、水を出しっぱなしにしくなくなった。(子)
- ・植物を植えたりした。(親)
- ・裏紙を使うようになった。(子)

エコ対策についてどう思いますか？

- ・必要、良い事、ずっと続けるのが大切
- ・地球の将来のために大切。
- ・みんなで取り組みれば地球温暖化を止める事が出来る。
- ・世界中全員で取り組むべき。
- ・無駄なゴミが減ると環境にもいいのでこれからも続けたい。
- ・良い事と思うが実行できない。

- ・エコ商品を買うより、今持っているものを大切にしたい。
- ・多人数で取り組みなければ意味がない。
- ・過剰にメディアに流されている。
- ・やりすぎは良くない(エコバッグ作りすぎ)。
- ・何をしてもいいかわからない・自己満足
- ・割り当業者とかビニール袋業者が経営困難になるのでは…?

十月十二日、由日本放送ラジオ制作部長兼兼気象予報士の住吉大輔氏を講師に迎え、「ラジオのチカラ無限大」という演題でPTA講演会が問われました。

震災時、停電でテレビが視聴出来ない中、ラジオが大切な情報源として重要な役割を果たした事や、ラジオは音が見えない分、想像力が無限に広がるという所を実験など交えながら楽しく話していただきました。

アンケートでもラジオを見直したという意見が多く聞かれ、とても有意義な時間をすごす事が出来ました。

現役合格に向けて

生徒が笑顔で卒業するために

十月一日ベネッセコーポレーションの平野浩司氏による進路講演会がありました。豊富な情報を基に、勉強法や親の声かけなどわかりやすく話してくださいました。

進路講演会

最後に保護者へのお話として次の四点を言われました。

- 1、健康・丈夫でいること
- 2、前向き・輝いていること
- 3、こどもの話を聞くこと
- 4、折ること

冷蔵庫の残り野菜ポタージュ



エコなクッキング



時短料理

- 残り野菜(じゃがいも・人参・かぼちゃ・キャベツ・玉ねぎ・セロリ・パセリ等) …合わせて250g
牛乳 1カップ
水 1/2カップ
固形スープの素 1個
塩 適量
コショウ 適量
- ① 野菜を2〜3センチに切り、シリコンスチーマーに入れ柔らかくなるまで電子レンジにかける。
 - ② 根菜は2〜3分、葉物は1分。
 - ③ ①と牛乳と水を3:1の割合で入れる。
 - ④ ③を鍋に入れ、固形スープの素を入れ火にかける。
 - ⑤ 塩・コショウで味を調える。

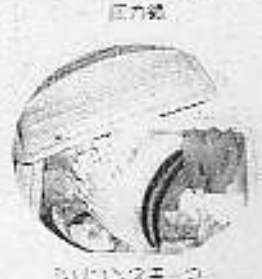


薄切野菜がおいしく、ハンドブレンダーがあればおろきキチーいっせー!!



フライパンひとつでスパゲッティ

- トマトジュース 1カップ
スパゲッティ 100g
野菜(玉ねぎ、人参、ピーマン等) 適量
- ・フライパンに水1カップとトマトジュース1/2カップ入れ火にかける。
 - ・沸騰したらパスタを入れ蓋をする。
 - ・途中まで湯で時間まで弱火にかける。
 - ・残りのトマトジュースと下切りにした野菜を入れ中火で炒める。
 - ・塩、コショウとケチャップで味を調える。





体育科 重留 哲也

県外に勤める友人が、お盆と正月に我が家を訪れる。かねて頻繁に連絡をとるわけではないが、年に二度、ゴルフをしたり酒を酌み交わしたりしながら共に笑う。この約束のない決まり事は、もう二十年以上繰り返されてきている。

「私の高校時代〜武台一期生〜」



国語科 菊戸口 久也

私たちは一期生が入学した時には、校舎もまだ工事中で、校舎も草が半い茂っている状態であった。体育の時間にはひたすら校庭作りが行われた記憶がある。きつい反面、少しずつできあがっていく喜びも感じた。とにかく、すべてが手探りで

高校時代は決して目立つ存在ではなかったつもりだが、先生に叱られることもあった。大量の宿題、小テスト、補習などにも苦勞した。部活動や友人関係優先の私には結構ハードな高校生活だったが、あの頃があったからこそ今があるのだ、とも思う。だから、生徒のみんなにはしっかりと将来のことを考えて、目的意識を持って勉強してほしい。その方がさせられるより楽だし、何より自分のためなのだから。



高橋 孝弘

で、他校に行っている友人から仕入れた情報を交換し合いながら、自分たちで考えながら行っていた。私個人は、入学当時、成績は悪かった。一年の最初の頃はクラスで三〇番台後半だったように記憶している。それでも、友人に質問したり、授業をちゃんと受けることで、どうにかこうにか、成績を上げることができたが、優等生とは言い難かった。部活動もしておらず、その分、体育祭では応援団をし、文化祭ではクラスの出し物の映画作りを友人と共に、脚本から撮影、編集に至るまで、自分たち

で考えながら行った。時には、人間関係のトラブルもあったが、とにかく「サレ」ながら行動してきた。高校時代を振り返ると、挫折と成長の時代だったように思う。惜しむらくは、部活動をしておけば良かったと思う。今、部活動をしながら、自分ができなかった経験をさせてもらっていることを幸せに思う。



菊戸口 久也

定期演奏会を終えて



吹奏楽部保護者 松下 智子
八月六日の定期演奏会での活動が終わり、七十七名を揃える大所帯で思い悩むことも多かったようですが、これから社会に出ていく娘にとってとても良い経験になったと思っております。

特に最後の演奏会には夏手補習と平行しながら企画・準備を進め、心身共にいっぱいだった毎日でしたが、立派なホールでたくさんのお客様の拍手で送られながらの引退という素晴らしいご褒美をいただきました。中学から六年間、渡る娘の吹奏楽部活動を通して、私も多くの方々との出会いができました。

最後にになりましたが、「ご指導いただきありがとうございました。」

川崎 智子
「東大紅に燃ゆるとき 噴煙たなびく校旗」いつも娘のように武台の校歌と共に娘にとって最後の定期演奏会の幕が上がった。児童合唱団から始まった約七年間の合唱活動、一度合唱の魅力を学んだことがある。「新譜をもらった時は、どんな曲だろうとワクワクするし、何より最初のパラだったあの歌が、練習を重ねるうちに、一つの素晴らしいハーモニーになっていると感じた時、歌っている自分自身鳥肌が立つ程感動するの。」と、娘は合唱を満して、心「抱い」を一つにする大切さを学んだのだと思う。

今年度の定期演奏会を含め三年間ご指導くださった池水先生、共に歩んできた部員、応援し、支えてくださった全ての皆様へ感謝いたします。

日	行	宿
12/12 (月)	鹿児島空港 → 羽田空港 お台場散策 → 上野公園散策 山下公園 → 横浜中華街	ホテル
12/13 (火)	ホテル → クラス別研修 東京宝塚歌劇	ホテル
12/14 (水)	ホテル → 東京都内別荘研修 東京ディズニーリゾート	ホテル
12/16 (木)	ホテル → 東京スカイツリー 浅草・仲見世散策 羽田空港 → 鹿児島空港	



定期演奏会

生徒会と語る会

九月二日に協議室にて生徒会と語る会に参加しました。

生徒のためのPTA行事がどのような受け止められているのか。
PTA行事、生徒会行事と一緒に取り組めることはいないか。
PTAに協力してほしい事、要望等。

PTA会長から「三年生はセンター試験勉強会でもんなおかけをしてほしいか？」と聞かれると、「ポルテージが上がるような」「元気が出るような」に加え、「自分の子どもに投げかけるような言葉がほしい。」との答えが返ってきました。親からの声かけはうんざりしているのではと思ってしまう。だが、そうではないのです。赤直な良い子どもたちです。



生徒会と語る会

編集後記

今回、二学年評議員全員で新しく新聞作りができました。親子で考える新聞を目指し、「五村菜一」を取り上げてみました。親子で見つけたと嬉しいです。依頼原稿やアンケート調査にご協力いただいた皆様、心より感謝いたします。

二学年評議員一同